

第4章 事業計画

4.1 施工計画

4.1.1 施工方針

本計画は、社会福祉労働省管轄下の4施設（障害者職業リハビリテーションセンター、ダマスカス盲学校、ダマスカスろう学校、アル・アマル肢体不自由児学校）に対して、障害者の職業リハビリ及び教育に係わる機材の調達・整備を、日本国の無償資金協力を通じて実施しようとするものである。本計画の実施には、機材の実施設計、入札関連業務、機材調達、現地での機材納入・据付工事とその監理が含まれる。また、本計画の特徴として、障害者職業リハビリテーションセンターの機材整備のみならず、職業リハビリシステムの強化を図るためのソフト面での支援業務が含まれる。このソフト面での支援は、コンサルタントが現地で行う実施設計調査や現地での機材納入・据付・指導を監理する際に併せて実施するものとする。

実施手順は、以下の通りである。

日本国政府とシリア国政府との間で、ENが取り交わされた後に、本計画の実施機関である社会福祉労働省とコンサルタントとの間で、コンサルタント契約を締結し、本計画の実施設計と施工監理業務を実施する。実施設計後に行う入札により機材調達に係わる日本国の業者を選定・契約し、同業者は機材調達、輸送、現地対付への機材納入・据付、運転保守の指導を行う。現地対付への機材納入、据付に当たっては、派遣技術者のもとに、現地作業員を活用して、機材の組立、配線、試運転、運転保守指導を行う。派遣技術者の種類としては、職業訓練機材、医療リハビリ機材の分野を考える。パソコンについては、現地調達を想定していることから、現地技術者の活用を考える。

4.1.2 施工上の留意事項

機材整備の計画サイトは、シリア国の首都ダマスカス市内の4施設であり、道路アクセスが良好で機材運搬上の問題点は少ないと考えられる。ただし、各施設への機材搬入に当たって、影響のある事項として次の2点があげられる。一つは、シリア国政府機関の勤務時間である。例えば、障害者リハビリテーションセンター勤務時間は、朝8:30から14:30までであるが、実質的には、9:00～13:00の4時間が作業時間である。また、その他の学校は、朝8:30から12:30までが勤務時間となっている。したがって、機材搬入作業には、一日当たり4時間と、きわめて限られた時間しか利用できない。また、英語の会話ができる職員がいない状況であることから、据付作業・運転指導に際して、英語-アラビア語の通訳を現地で雇用することが必須となる。

4.1.3 施工区分

本計画の我が国の施工範囲は、計画機材を調達し計画対象の4施設に輸送・搬入することであり、これには機材の据付・試運転・保守指導を含む。また、電気配線工事についても各部屋の電源から各機材までの接続、配線を含める。また、これら一連の機材調達業務の施工監理を行う。

なお、施工監理の一環として、機材の有効活用を支援するためのソフト面での協力、特に障害者職業リハビリテーションセンターのシステム改善の協力を実施する。

シリア国側の施工範囲は、シリア国内の港湾での通関費用を負担すること並びに、計画対象施設においては、電気を使用する機材の増加に対応する電源・コンセントの整備と、機材配置計画の基づく、機材設置予定場所の整理（不要機材の搬出等）等がある。

4.1.4 施工監理計画

本計画における施工監理業務の主なものは以下の通りである。

- ・ 機材詳細仕様の協議、作成
- ・ 機材の配置計画の検討と設備（主として電気）改善計画の作成
- ・ 入札図書作成、積算、入札業務補佐
- ・ 供与機材の出荷前検査（日本国及びシリア国、また必要に応じて第三国製品）
- ・ 日本国調達品のシリア国荷揚げ港到着時の外観・梱包状況検査
- ・ 供与機材のサイト搬入監理及び検査

施工監理に係わる各技術者の担当業務は、以下の通りである。

a) 総括（スポット）

全業務の総括
実施機関との契約・協議
機材の詳細仕様の協議・作成・確認
入札業務の補佐総括
機材検収、引き渡し立ち会い

b) 機材設計（スポット）

機材の詳細仕様の協議・作成
機材配置計画の検討・作成
供与機材の出荷前検査（日本調達品、現地調達品、また必要に応じ第三国調達品）
供与機材のシリア国荷揚げ港での確認検査
供与機材の計画サイト搬入確認、検査
機材検収、引き渡し立ち会い

c) 積算、入札図書作成

詳細設計における事業費積算

入札図書作成支援

d) 障害者職業リハビリシステム設計（スポット）

障害者職業リハビリテーションセンターのシステム改善のソフト面での計画及びその内容の技術移転。

機材調達後においては、改善計画内容、特に職業指導面を重点に相手国政府職員に指導する。

その他にアラビア語通訳（日本人または現地通訳）が必要となる。

4.1.5 機材調達計画

職業訓練用各種機材については、現地代理店を通じて消耗品、スペアパーツ、保守管理等のアフターサービスが受けられることが肝要である。医療リハビリ機材については、第三国製品を取り扱っている代理店があるので、第三国製品の現地調達もしくは日本や欧米の製品が調達可能である。教育機材として、各種説明図や三次元モデルがある。これらは、アラビア語の説明書きが必要となるが、アラビア語の説明書がもともと付いているものの調達は困難であることから、英語版の説明書が付いているものでも可とする。（アラビア語の翻訳を付けることを条件とする）メンテナンスから考えて現地調達すべき機材としては、パソコン、コピー機、調理用機材がある。パソコンやコピー機については、特に定期的なメンテナンスが必要な機材である。主要メーカーの製品を取り扱っている代理店が現地にある。これらの代理店では、用紙、トナー、インクカートリッジ、フロッピーディスク等の消耗品の取り扱いとともに、メンテナンスサービスも行っているため現地調達がふさわしい。なお、パソコンについては、部品を輸入し現地で組立・販売されている機種があるが、良好な品質の機材を調達する事を重視し、現地アSEMBル品は、調達対象外とする。

4.1.6 運営・訓練システム改善に係わるソフト面での協力

ソフト面における技術移転は、障害者職業リハビリテーションセンターを対象とし、4.4項で記述した内容の一部を実施するための協力を行う。その内容と実施時期を以下に説明する。

第1回

- 1) 作業評価技法として「職業評価技法」と「ジョブサンプリング評価の作成法」を伝達する。
「職業評価技法」とは、個人の職業適正を判断する方法であり、具体的には日本等の一般職業適性検査をシリア国にあわせた技法を英訳し、現地で説明し、その導入を図る。「ジョブサンプリング評価作成法」とは、コースの要素一つ一つの評価法であり、具体的な作業をサ

ンプルとして評価する方法である。その具体的な方法を各コース毎に説明する。これらの作業には約10日間が必要である。職業評価技法の具体案は、シリア国が日本側にドラフトの形で提出することとする。

- 2) コースのカリキュラム策定についての指導を行う。日本側で用意したカリキュラム案をもとに、現指導員と協議し、シリア国に適合するカリキュラムを策定する。カリキュラムを策定するコースは、ビジネス、木工、縫製、編物、電機修理、知的障害者能力開発の6コースとする。指導期間は約10日間とする。カリキュラム案もシリア国が日本側にドラフトの形で提出することとする。
- 3) テキスト作成指導を行う。カリキュラム案に基づいて、必要とされるテキストの作成方法について指導する。シリア国で集めるテキストサンプルと日本から持参したテキストを参考にして、障害者職業リハビリテーションセンターに適したテキスト作成の方向性を確立する。指導期間は約10日間とし、テキスト案もシリア国が日本側にドラフトの形で提出することとする。
- 4) 指導員再教育の必要性について説明するとともに、再教育の方法をシリア側から聴取する。説明・協議期間は約2日間とする。再教育の方法が2日間で確定しない場合は、社会福祉労働省から日本側に報告を行うこととする。
- 5) 職業適応指導の方法について説明する。説明期間は2日間とする。社会福祉労働省は、委託業務発注元の可能性を調査し、日本側に報告する。
- 6) 個別カリキュラムの策定について指導する。前項の作業に基づいて、全体のカリキュラムから個別カリキュラムを作成する方法を説明する。約2日間の作業となる。
- 7) 補助機器（補装具の一種）の考え方と試みを行う。補助機器とは、例えば、上肢障害で握力のない人にねじ回し操作を行う際に握りをその人に適した形にする方法・道具作りを言う。それらの具体例を3日間程度で行う。
- 8) 就業活動の方法について指導する。日本での実例を紹介するとともに、シリア国での可能性に着き確認を行う。指導期間は約3日程度である。

以上の作業には現地で約1.5ヶ月を要する。対象者は障害者職業リハビリテーションセンター全職員および社会福祉労働省の関連担当者とする。

第2回（機材検収時）

- 1) 作業評価技法の最終案を確定する。また、在校生の作業評価をサンプル的に行う。また、ジョブサンプリング評価方法についての案を策定する。
- 2) 各コースのカリキュラムを最終決定する。既に機材も確定・到着していることからカリキュラム案を新しい機材にあわせて必要な修正・追加を図る。
- 3) 各コースのテキストも新しい機材にあわせたものを最終決定する。最終決定したテキストは調達されたコピー機で必要部数印刷を開始する。
- 4) 指導員再教育方法の具体的方法について社会福祉労働省から確認を取り、その内容を評価する。
- 5) 職業適応指導の委託業務の内容を確認する。その内容を上記のカリキュラムに反映させる。
- 6) 補助機器の試作を行う。試作には、新しい木工機械等を応用する。
- 7) 就業活動の具体的方法を社会福祉労働省から確認を取り、その内容を評価する。
- 8) 本計画の進展状況が把握できるよう、モニタリング計画を前もって準備しておき、シリア国側にモニタリング方法と定期的な報告につき指導する。

以上の現地作業期間として、約1.5ヶ月を計画する。

4.1.7 実施工程

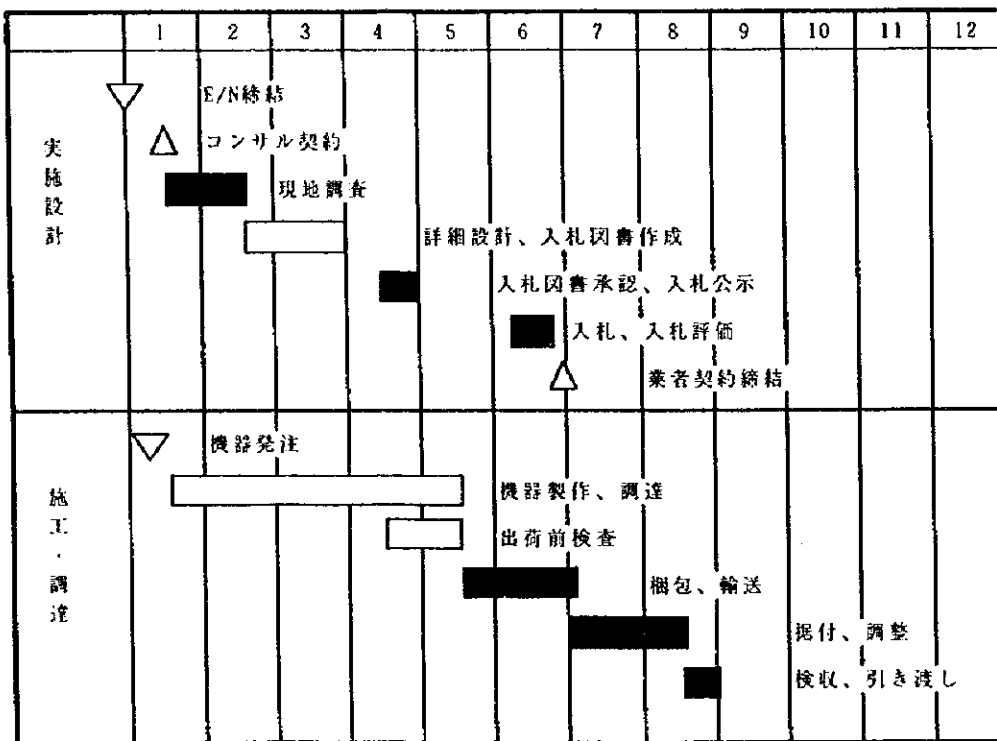
本計画は、日本国およびシリア国政府間の本計画に係わる無償資金協力についての交換公文(E/N)署名により開始される。

シリア国政府は、交換公文締結後速やかに日本国のコンサルタントと本計画の実施設計・施工監理委託契約を結ぶ。この契約後、コンサルタントは、実施設計、入札図書作成を行い、シリア国政府側の承認を得て、入札業務を行う。さらに、入札評価を行い、シリア国政府と落札業者との契約交渉や契約に立ち会う。これらの業務すなわち、コンサルタント契約から業者契約までの実施設計業務には、約5.5ヶ月必要である。

落札業者は、シリア国政府との契約締結後、契約書の日本国外務省による認証を待って、ただち

に機材の発注・調達にとりかかる。本計画に含まれている機材内容から判断すると、機材製作に要する期間は約4ヶ月と考えられる。製作後の国内輸送、梱包、船積みそして海上輸送、内陸輸送に約2ヶ月必要とする。その後、計画サイトでの開梱包、機材据付、試運転・保守指導に約1ヶ月必要と見込まれる。なお、障害者職業リハビリテーションセンターに対するソフト面での支援は、現地に2回入り実施することとする。

以上から本計画では、実施設計に約6ヶ月、施工に約8ヶ月を要する。
本計画の実施工程を下表に示す。



4.1.8 相手国負担事項

シリア国側の負担事項としては以下のものがある。

- (1) 銀行に対する手数料の負担 (APのアドバイス手数料及び支払い手数料)。
- (2) シリア国内での供与機材に関する通関手続き及び免税措置の速やかな実施。
- (3) 既存機材の移設作業。
- (4) 本計画に係わる日本人の出入国、滞在のための手続き上の便宜供与。
- (5) 無償資金協力により供与される機材の適正使用。
- (6) 機材の適切な維持管理と日本国政府への定期的報告。
- (7) 無償資金協力プロジェクトとして、スコープ以外の必要経費の負担。

4.2 概算事業費

4.2.1 概算事業費

本計画を日本の無償資金協力により実施する場合に必要な事業費総額は、約##億円となり、先に述べた日本とシリア国との負担区分に基づく双方の経費内訳は、下記に示す積算条件によれば、次のとおり見積もられる。

(1) 日本側負担事業費

事業費区分	単年度
(a) 機材費	2.09 億円
(b) 設計・監理費	0.48 億円
合計	2.57 億円

(2) シリア国側負担経費

機材導入時に、機材移転費、電気配線工事、建物整備費等として3.3百万円が必要となる。

この詳細は次項の維持管理費の1998年度費用として示している。

(なお、A/Pの開設や支払いの際に、若干の銀行手数料が必要となる。)

(3) 積算時点

- (a) 積算時点 平成10年2月
- (b) 為替交換レート 1 USドル=129円
1 USドル=45.25 シリアポンド、(1 シリアポンド=2.85円)
1 トイナク=70.98円
- (c) 施工期間 単年度施工
- (d) その他 本計画は、日本国の無償資金協力の制度に従い実施されるものとする。

4.2.2 維持・管理費

(1) 障害者職業リハビリテーションセンター

機材導入後の保守は、各コースの指導員それぞれが責任をとる体制とする。機材の維持管理費は、使用開始の3年目から必要となる(1年目は新しい機材のため不要・2年目は日本から供与されたスペアパーツを使用)。修理を含んだ機材維持管理費は3~4年目約75万シリアポンド、5~6年目以降約129万シリアポンド、7年目以降181万シリアポンドと見込まれる。これらの維持管理を行うことにより、機材の耐用年数は機材によって異なるが平均約10年程度と見積もられる。ただし、パソコンは陳腐化のおそれがあり、5年程度と思われる。

また、原材料費は下記のように年間約34万シリアポンド程度が必要と見積もられる。これらの原

材料費は、製品を販売したり、委託業務費から補填することを提言する。

ビジネスコース	50,000 シアポント
木工コース	80,000 シアポント
縫製コース	60,000 シアポント
編物コース	60,000 シアポント
電機修理コース	60,000 シアポント
障害者知的開発コース	30,000 シアポント
小計	340,000 シアポント

また、指導員の増強も必要である。機材導入初年度は、3名の指導員の増員が必要となり、2年度には指導員4名の増員が必要となる。指導員の平均給与は5,000シアポント/月程度であるため、増員分の指導員年間給が、初年度に18万シアポント、2年度以降は42万シアポント必要となる。

増加分機材の電気代は年間で6,000シアポント、またバスの燃料代は年間10万シアポントが必要となる。

機材導入時は、以下の建物の1次側電気工事等が必要であり、約370,000シアポント程度の経費が必要となる。

ビジネスコース	150,000 シアポント
木工コース	130,000 シアポント
縫製コース	30,000 シアポント
編物コース	30,000 シアポント
電機修理コース	30,000 シアポント
小計	370,000 シアポント

以上より、本プロジェクト実施に際して障害者職業リハビリテーションセンターで必要となる増額経費は以下の通りである。

年度	維持管理費 (シアポント)	1997年 予算比	1997年 省予算費	必要項目
1998	370,000	2.5%	0.1%	建物電機工事費等
1999	626,000	4.4%	0.2%	指導員増員人件費・原材料費・その他
2000	866,000	5.8%	0.2%	指導員増員人件費・原材料費・その他
2001	1,641,000	10.9%	0.4%	指導員増員人件費・原材料費・修理費・その他
2002	1,641,000	10.9%	0.6%	指導員増員人件費・原材料費・修理費・その他
2003	2,159,000	14.7%	0.6%	指導員増員人件費・原材料費・修理費・その他

(2) ダマスカス盲学校

機材の維持管理はそれぞれの担当教官並びに事務官が行う。修理を含んだ機材維持管理費は3～4年目約55万シアポント、5～6年目以降約92万シアポント、7年目以降129万シアポントと見込まれる。

増加分機材の電気代は年間で4,000シリアンポント、またバスの燃料代は年間10万シリアンポントが必要となる。

また、機材導入時には施設の床改修・教室整備等で約500,000シリアンポントが必要となる。

以上より、本プロジェクト実施に際してダマスカス盲学校で必要となる増額経費は以下の通りである。

年度	維持管理費 (シリアンポント)	1997年 省予算比	必要項目
1998	500,000	0.18%	建物床工事費等
1999	104,000	0.02%	電気代・その他
2000	104,000	0.02%	電気代・その他
2001	654,000	0.17%	電気代・修理代・その他
2002	654,000	0.17%	電気代・修理代・その他
2003	1,024,000	0.26%	電気代・修理代・その他

(3) ダマスカスろう学校

機材の維持管理はそれぞれの担当教官並びに事務官が行う。修理を含んだ機材維持管理費は3～4年目約44万シリアンポント、5～6年目以降約74万シリアンポント、7年目以降104万シリアンポントと見込まれる。

バスの燃料代は年間10万シリアンポントが必要となる。

また、機材導入時には施設の教室整備等で約100,000シリアンポントが必要となる。

以上より、本プロジェクト実施に際してダマスカスろう学校で必要となる増額経費は以下の通りである。

年度	維持管理費 (シリアンポント)	1997年 省予算比	必要項目
1998	100,000	0.03%	建物床工事費等
1999	100,000	0.03%	その他
2000	100,000	0.03%	その他
2001	540,000	0.14%	修理代・その他
2002	540,000	0.14%	修理代・その他
2003	840,000	0.22%	修理代・その他

(4) アル・アマル肢体不自由児学校

機材の維持管理はそれぞれの担当教官並びに事務官が行う。修理を含んだ機材維持管理費は3～4年目約54万シリアンポント、5～6年目以降約90万シリアンポント、7年目以降126万シリアンポントと見込まれる。

増加分機材の電気代は年間で4,000シリアンポント、またバスの燃料代は年間10万シリアンポントが必要

となる。

また、機材導入時には施設の温浴療法室改修・教室整備等で約 300,000 シリアポンドが必要となる。

以上より、本プロジェクト実施に際してアル・アマル肢体不自由児学校で必要となる増額経費は以下の通りである。

年度	維持管理費 (シリアポンド)	1997年 省予算比	必要項目
1998	300,000	0.08%	温浴療法室工事費等
1999	104,000	0.03%	電気代・その他
2000	104,000	0.03%	電気代・その他
2001	644,000	0.17%	電気代・修理代・その他
2002	644,000	0.17%	電気代・修理代・その他
2003	1,004,000	0.26%	電気代・修理代・その他

以上より、対象4施設で必要となる維持管理は各年度で以下の通りとなる。社会福祉労働省はこれらの予算を確保する必要がある。

年度	維持管理費 (シリアポンド)	1997年 予算比
1998	1,270,000	0.32%
1999	934,000	0.24%
2000	1,174,000	0.30%
2001	3,479,000	0.90%
2002	3,479,000	0.90%
2003	5,027,000	1.30%

4.2.3 モニタリング計画

本プロジェクトにおけるモニタリングは、障害者職業リハビリテーションセンターを対象とする。モニタリング項目は以下の通りとする。

(1) 教師数

基本設計時の人数と、機材導入後の3年間の教師数との比較を行う。この教師数は毎年9月に社会福祉労働省から在シリア日本大使館並びに JICA シリア事務所へ報告する。

(2) 生徒数

基本設計時の人数と、機材導入後の3年間の生徒数との比較を行う。この生徒数は毎年9月に社会福祉労働省から在シリア日本大使館並びに JICA シリア事務所へ報告する。

(3) 卒業生の就業者数

社会福祉労働省が1998年度の卒業生の就職状況を確認する。また、本機材が導入され2年後の新コース卒業生の就職状況を1998年の状況と比較する。1998年及び機材導入2年後の就職状況は、社会福祉労働省から在シリア日本大使館並びにJICAシリア事務所へ報告する。

(4) 職業適正評価システムの確認

実施設計時に指導する評価システムの確立状況を確認する。数値的には、評価システムが行われているコースの確認を行う。これは6コースと既存コース分が確立されれば完成と見なす。この確認作業は日本からのソフト分野協力を行っている担当者が行う。

(5) 全体および個別カリキュラム作成の確認

実施設計時に指導する全体および個別カリキュラムの確立状況を確認する。数値的には、生徒数に対する全体および個別カリキュラム作成率を確認する。これは、100%が最終目標である。この確認作業も日本からのソフト分野協力を行っている担当者が行う。

(6) テキスト作成数の確認

各コースのテキスト作成状況を確認する。これは6コースと既存コース分が確立されれば完成と見なす。この確認作業は日本からのソフト分野協力を行っている担当者が行う。

(7) 製作品等の売上高の確認

製作品（木工品・編物・縫製・織物）および外注成果品（タイプ・電機修理）は、バザー等で販売し、原料代の一部補填を計画する。この、売上高の報告を毎年在シリア日本大使館並びにJICA事務所へ行う。

(8) 入所希望者数の確認

本プロジェクトが成功し、障害者の就業が促進されれば、障害者の就業への希望が高まる。これは、本センターへの申込者数の増加として捉えることが可能である。このため、社会福祉労働省が1998年度より年間の申込者数の統計を取り、これも在シリア日本大使館並びにJICA事務所に報告する。

(9) その他の諸活動の確認

本センターの活動状況を示すものとして、各種メディアを通じた広報等の資料などが提供されることが望ましい。またアラブ諸国は、共通の障害者問題を抱えており、域内の相互交流が盛んに行われている。本プロジェクトの効果が高い場合は、多くのアラブ諸国からの見学者が見込まれる。この見学者数についても、社会福祉労働省が年毎に比較し在シリア日本大使館並びにJICAシリア事務所に報告することが望ましい。

第5章 プロジェクトの評価と提言

5.1 妥当性に係わる実証・検証及び裨益効果

シリア国全体で50～130万人以上いると見積られる障害者の中で、本プロジェクト対象施設が行っている職業リハビリテーション及び教育等の社会サービスを受けている人口は1%にも満たないと推定される。他方、職業リハビリテーション及び教育現場では機材が老朽化しており、貴重な社会サービスの実施に支障を来している。さらに、障害者職業リハビリテーションセンターでは、機材の老朽化とともに、指導員・教育カリキュラム等ソフト面の質も低下してきている。

本プロジェクトにより、障害者職業リハビリテーション及び障害者教育に資する機材を整備し、各施設が有する本来の機能を回復・充実させるとともに、障害者職業リハビリテーションセンターに対するソフト面の協力をあわせて行うことにより、障害者が職業を得る可能性の拡大を図ることが期待できる。

具体的には以下の裨益効果が期待される。

障害者職業リハビリテーションセンター

- 1) 障害者職業リハビリテーションセンターのコース及びコース機材見直しにより、より重度の障害者に対する職業リハビリテーションが可能となる。
- 2) 就職に有利な職業選択が可能となる。
- 3) 機材・カリキュラムが不備であった知的障害者に対する職業リハビリテーションが可能となる。
- 4) 楽器・スポーツ機材導入による音楽・スポーツセラピーの充実
- 5) 機材更新による各コースの訓練内容の充実
- 6) 職業適正評価システムの改善
- 7) コース別カリキュラム及びカリキュラムに沿ったテキストの充実
- 8) 指導員の質の向上
- 9) 個別カリキュラムの導入
- 10) 就業活動の充実

ダマスカス盲学校

- 1) 点字印刷機更新による盲人用テキスト作成促進
- 2) 盲人用教育機材（点字タイプライター・カセットレコーダー・一般教育機材等）更新・導入による授業内容の充実
- 3) 楽器更新による音楽授業の充実

- 4) スポーツ機材導入によるスポーツ教育の充実
- 5) 家庭用機器導入による日常生活訓練の充実

ダマスカスろう学校

- 1) 聴覚訓練・測定機器・ビデオ機器・教育機材更新・導入による授業環境・内容の改善
- 2) リズム用楽器導入による音楽教育の充実
- 3) スポーツ機材導入によるスポーツ教育の充実

アル・アマル肢体不自由児学校

- 1) 車椅子・理学療法機器更新による肢体不自由児へのサポート体制の充実
- 2) ビデオ機器・教育機材更新・導入による授業内容の改善
- 3) 楽器導入による音楽教育の充実
- 4) スポーツ機材導入によるスポーツセラピーの充実

本プロジェクトの直接裨益者は、対象4施設に通学する訓練生・学生940名であるが、盲学校での点字テキスト作成、ろう学校での聴覚訓練、アル・アマル校での理学療法等の技術が他の障害者学校にも効果を及ぼすことが期待できる。また、障害者職業リハビリテーションセンターでは、機材の整備とともにその機材を有効活用するためのソフト面の協力を行うことにより、訓練内容を充実させ、障害者の就業活動に寄与することが大いに期待される。このソフト面の効果を検証するために、実施機関は以下のモニタリング項目に関するレポートを定期的に日本側に提出することとした。

障害者職業リハビリテーションセンターに対するモニタリング項目

- 1) 指導員数の確認
- 2) 生徒数の確認
- 3) 卒業生の就業者数の確認
- 4) 職業適正評価システムの確認
- 5) 全体及び個別カリキュラムの確認
- 6) テキスト作成状況の確認
- 7) 製作品等の売上高の確認
- 8) 入所希望者の確認
- 9) センターの諸活動の確認

本プロジェクトは、以下の点から日本の無償資金協力による実施が妥当と判断される。

- 1) プロジェクトの裨益対象者は一般国民の中で弱者に位置づけられる障害者である。

- 2) 計画の目的が障害者に対する教育・職業リハビリテーションである。
- 3) 対象4施設は、シリア国の資金・人材・技術によって維持・管理・運営がなされている。
- 4) シリア国の開発計画の目標達成に貢献する案件である。
- 5) 環境に対する悪影響がない。

5.2 技術協力・他ドナーとの連携

現在、社会福祉労働省に対する具体的な技術協力としては、青年海外協力隊員による脳性麻痺センターに対する協力（1997年7月13日～1999年7月12日）が行われているが、本プロジェクト対象施設への技術協力は行われていない。しかしながら、将来的には、職業リハビリテーション分野への専門家や青年海外協力隊員の派遣等の技術協力の実施を検討し、本計画との連携を積極的に図ることが望ましい。

本プロジェクト実施に当たっては、コンサルタントが、障害者職業リハビリテーションセンターの運営・訓練システム改善について協力を行うことを計画している。

5.3 課題

本計画により、前述のように対象4施設に対する多大な効果が期待されると同時に、本計画はシリア国の障害者の教育・就職に寄与することから、本計画を日本の無償資金協力によって実施することは妥当と判断される。さらに、本計画の運営・管理についても、相手国の実施機関では資金面での体制を整え、人員面でも今回計画しているソフト面の協力と相まって、より効果的な運営が期待できることから、実施における問題点はないものと考えられる。

しかし、障害者職業リハビリテーションセンターにおいては、ソフト面の協力により改善される点をさらに発展させ、以下の点を中心とした考えを将来的・長期的に推し進めることにより、本計画はより効果的な実施が期待されるものとする。

- 1) 障害者のリハビリテーションとは「一般社会、及び一般職場において、人間としての権利の回復であり、その主体は障害者自身である」。
- 2) また、リハビリテーションはその経済性と効率を考え進めるものであり、職業リハビリテーションとは、「適切な職業を得て、その職業生活、社会生活を通して、人生のクオリティーを高めることである」

具体的には、以下の点に関するさらなる整備を将来的・長期的に行うことが望ましい。

- 1) 障害者職業リハビリテーションセンターをシリア国の中心的存在としての「職業リハビリ

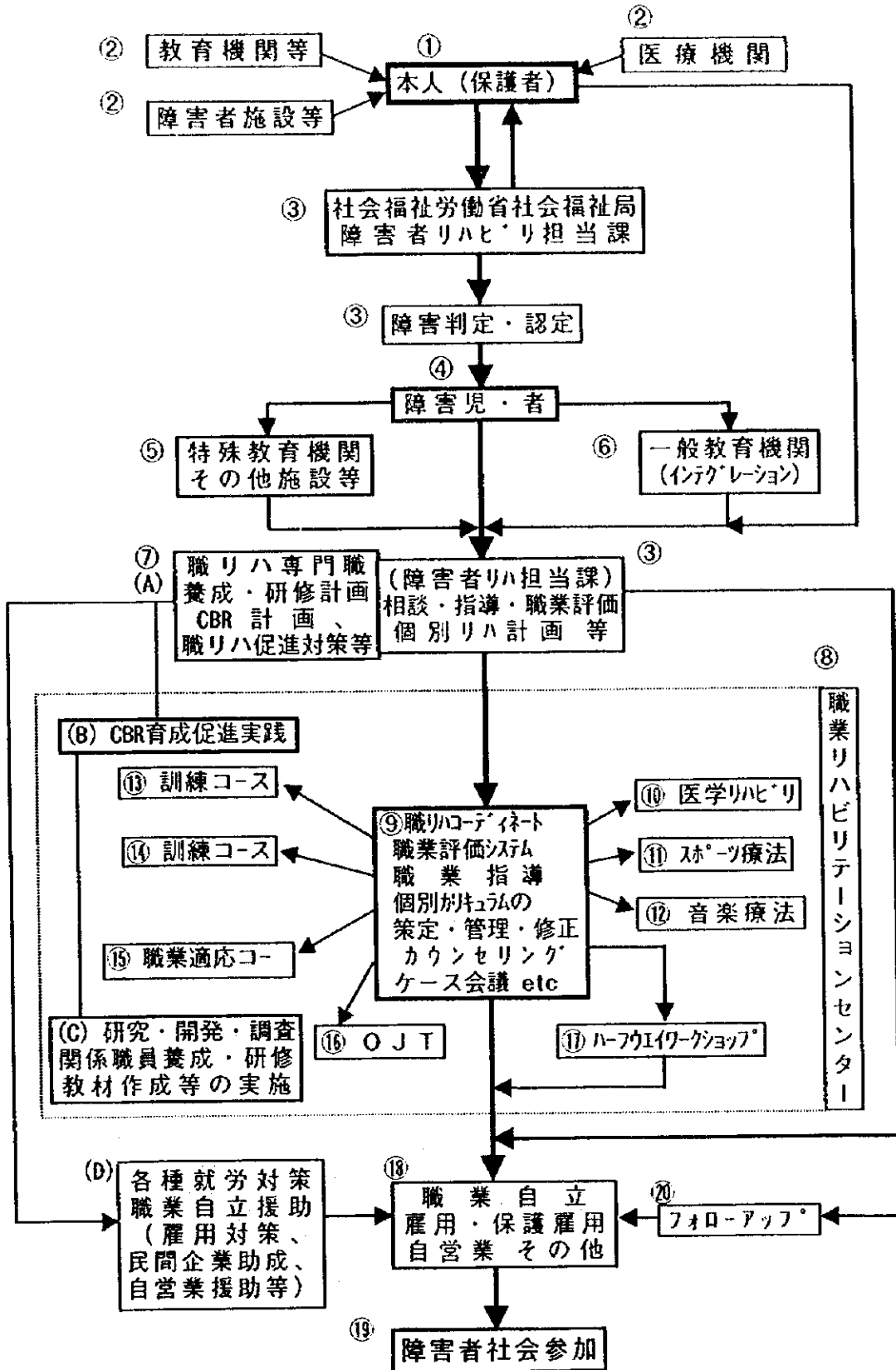
テーションサービス」の実施促進機関とする。

- 2) 社会福祉労働省内に職業リハビリテーションセンターの中核として、職業リハビリテーションコーディネーター部門を設置する。
- 3) ソフト面の協力で推進された就業活動をさらに押し進め、早期に就労活動を行い、雇用予約を締結し、企業との連携の基にオン・ザ・ジョブ・トレーニングあるいは施設内職業リハビリテーション(IBR)において実践的訓練指導を実施する。またハーフウェイワークショップ（直接就労するには若干自信の無い人、いまし実践的作業をした方がよい人、自営を希望する人等を対象にした実践作業を通じて訓練・指導を行う設備）を設置する。
- 4) 就職先となる事業所に対し障害者の受入れ計画と受入れ上必要な指導を行う。
- 5) 修了者に対するフォローアップと追跡調査をさらに押し進め、知的障害者の場合は職場適応指導を行い就労への定着を図る。必要に応じ、将来的には通勤ボランティアや作業現場における「ヒューマンサポート」制度等を導入する。
- 6) このように障害者職業リハビリテーションセンターを「センター オブ センター」とし、一般職業訓練所及び学校において障害者を積極的に受け入れる(ナマワ代'イヨン、インカ'レシヨ)指導やコミュニティベース・リハビリテーション (CBR) の促進並びに障害者職業リハビリテーションサービスを提供する上でのノウハウ及びこれらに関する情報提供を行う施設としての使命役割を持たせる。

以上の、実施方法を図 5.1 シリア障害者職リハシステムチャート（将来像）に示す。

図 5.1 シリア国障害者職業リハビリテーション・システム案 (将来像)

(CENTRE OF CENTRES IN SYRIA)



資料編

1. 調査団氏名、所属	A-1
2. 調査日程	A-3
3. 相手国関係者リスト	A-5
4. 当該国の社会・経済事情	A-7
5. 参考資料リスト	A-9
6. 計画機材リスト	A-11

1. 調査団員氏名、所属

(1) 現地調査時（平成9年11月18日～12月12日）

総括 : 村松 美江 国際協力事業団無償資金協力調査部調査第三課
技術参与 : 丹羽 勇 (財)日本障害者リハビリテーション協会国際委員
計画管理 : 神谷 哲郎 国際協力事業団派遣事業部派遣第三課
業務主任/運営・維持管理計画 : 須田 正美 中央開発株式会社
障害者職業訓練・教育計画 : 穂坂 山喜男 中央開発株式会社
機材計画 : 道順 勲 中央開発株式会社
調達計画/積算 : 監物 順之 中央開発株式会社

(2) 概要書説明時（平成10年3月3日～3月13日）

総括 : 海老名 捷彦 国際協力事業団シリア事務所長
業務主任/運営・維持管理計画 : 須田 正美 中央開発株式会社
障害者職業訓練・教育計画 : 穂坂 山喜男 中央開発株式会社

2. 調査日程

(1) 現地調査

月日	曜日	日 程	
		官側団員、A:村松美江 B:丹羽勇、C:神谷哲朗	コンサルタント D: 須田正美 E: 穂坂山喜男 F: 道順 勲 G: 監物順之
1	11月18日	火	移動: Narita 10:35 (11/11) - Frankfurt 14:45
2	19日	水	移動: Frankfurt 13:05 (11/668) - Damascus 18:25
3	20日	木	JICA事務所打ち合わせ、在シリア日本大使館 表敬 国家企画庁(SPC)表敬、 社会福祉労働省(MSAL)表敬
4	21日	金	休日
5	22日	土	サイト調査 (障害者職業訓練センター)、身体障害者協会訪問 (B, E)
6	23日	日	サイト調査 (7L・7M身体障害者学校・ろう学校)
7	24日	月	サイト調査 (盲学校・ろう学校)、社会福祉労働省大臣表敬 MSALとの協議
8	25日	火	サイト調査 (7L・7M身体障害者学校: A, B, C) サイト調査 (障害者職業訓練センター, D, E, F, G) MSALとの協議 (ミニッツの機材内容)、障害者職業訓練センターのミニッツの機材内容確認(A, C, D, E, F, G)
9	26日	水	MSALとミニッツ協議(A, C, D) サイト調査 (障害者職業訓練センター、7L・7M身体障害者学校) (E, F, G) UNDPにて関連プロジェクト調査(B)
10	27日	木	ミニッツ署名、大使館・JICA事務所報告 (A, B, C, D, G) 障害者職業訓練センターで機材調査 (E, F) ミニッツ, EOJ, JICA
11	28日	金	休日 (資料整理、団内打ち合わせ)
12	29日	土	Damascus 02:35 (KL515) MSALにて資料収集と各種関連機関訪問手続き依頼 (D, G) - Amsterdam 6:40, 午後発 SPCにて国家開発計画について調査 (D, G) 障害者職業訓練センター (現有機材調査、E, F)
13	30日	日	日本着 (Osaka 09:35) 社会福祉短大の見学及び調査 (D) (Narita 15:05) 障害者職業訓練センター (ハースト調査、要請機材内容調査、E, F, G) コピー機、コンピュータの販売店訪問 (現地調達可能性調査、D)
14	12月1日	月	障害者職業訓練センター (要請機材内容調査、E, F) 盲学校 (現有機材調査、要請機材内容調査、D, G) 車椅子、パソコン販売店調査 (F, G)
15	2日	火	障害者職業訓練センター (要請機材内容調査、E, F) SPC訪問 (社会保証分野の計画入手、D, G)、MSALにて資料入手 ろう学校 (現有機材調査、要請機材内容調査、D, G)
16	3日	水	7L・7M障害者学校 (現有機材調査、要請機材内容調査、D, E) MSALに国際機関訪問のためのアポ取得依頼 (F, G) ろう学校 (要請機材内容調査 特に言語、聴覚、音楽機材、D, E)
17	4日	木	7L・7M障害者学校、ろう学校 (要請機材内容調査、D, E) UNDPにて関連プロジェクトの実施状況調査 (F, G)
18	5日	金	資料整理、団内打ち合わせ
19	6日	土	障害者職業訓練センター (要請機材内容、機材配置等調査、E, F) MSALでの調査 (理学療法士の役割等、D)、機材価格等調査 (G)
20	7日	日	身体障害者が雇用されている工場 (7M・7E) 見学 (E) ユネスコ訪問、UNRWA職業訓練所調査 (G) ろう学校、身体障害者学校、盲学校の機材設置予定場所 (教室) の確認(D, F)

月日	曜日	日 程			
		官側団員、A:村松美江 B:丹羽勇、C:神谷哲朗		コンサルタント D: 須 田 正 美 E: 穂 坂 由 喜 男 F: 道 順 勲 G: 監 物 順 之	
21	8日	月	MSALにて対象4施設の要請機材内容詳細確認 (D, E, F, G) ダマスカス病院見学 (理学療法の実施状況と使用機材調査E, F) JICA事務所あいさつ (G) 及び中間報告 (D)		
22	9日	火	第三工業短大の調査 (以前F・Gが協力、D) IBN Al-Nafecs病院見学 (理学療法と使用機材調査、D) 身体障害者が雇用されている工場 (靴製造) 見学 (E, F)	Damascus 07:30 (LH 669) - Frankfurt 11:10、第 三国調査 (ドイツ) (点字機械)	
23	10日	水	MSAL報告、JICA事務所報告 (D, E, F) ユニセフにて関連プロジェクト調査 (F)	第三国調査 (皮革用機械等)	
24	11日	木	Damascus 07:30 (LH 669) - Frankfurt 11:10, Frankfurt 13:30 (LH 711) -		Frankfurt 13:30 (LH 711) -
25	12日	金	- Narita 8:30		

(2) 基本設計概要書説明日程

	月日	曜日	日 程
1	3月3日	火	成田 12:30(AF275)発～パリ 17:10 着
2	4日	水	パリ 13:30(AF672)発～ダマスカス 19:15 着
3	5日	木	JICA シリア事務所挨拶及び計画内容説明 SPCにて今回の訪問目的の説明 日本大使館挨拶及び計画内容説明 社会福祉労働省(局長)への今回の訪問目的の説明及び明日以降のスケジュールの確定
4	6日	金	資料整理
5	7日	土	盲学校の機材内容・先方負担事項の説明 ろう学校の機材内容・先方負担事項の説明 アル・アマル校の機材内容・先方負担事項の説明 職業リハビリセンターのコース改編の説明・機材内容の説明 先方負担事項の説明・ソフトコンポーネントの概要説明
6	8日	日	資料整理
7	9日	月	職業リハビリセンターのソフトコンポーネントの詳細内容の説明
8	10日	火	社会福祉労働省にてミニッツ案の内容確認 JICA シリア事務所にてミニッツ案の説明
9	11日	水	社会福祉労働省 ミニッツサイン 日本大使館への報告
10	12日	木	移動:ダマスカス 01:50(AF677)発～パリ 05:55 着 パリ 13:30(AF276)発～
11	13日	金	成田 09:15 着

3. 相手国関係者リスト

(1) Ministry of Social Affairs and labor

Mr. Ali Khalil	Minister
Dr. Tarek Akkash	Director of Social Service Department
Ms. Ferial Hamed	Chief of Child Care, Social Services Department
Ms. Lina Chameh	Head of Translation Division
Ms. Remda Taker	Supervisor on Disabled Sports in the Ministries Institutions
Mr. Abraham Balaana	Secretary of Minister
Ms. Wafa Fouyts	Social Specialist
Mr. Radwan Malla	Social Specialist
Ms. Heba Jerouday	Social Specialist
Mr. Mohd Kariri	Director of Social Affairs Directorate, Daraa Area

(2) State Planning Commission

Mr. Bassam Al Sibai	Director of Technical Cooperation Department
Mr. Mohammad Karkoosh	Director of Local and Services Planning

(3) Vocational Rehabilitation Center in Damascus

Mr. Yahya El - Niker	Director
Mr. Padia Danora	Instructor for Typewriting Course
Mr. Sharif Al Hayek	Instructor for Photograph Course
Mr. Mustaf Sarhan	Instructor for Electric Maintenance Course
Mr. Mohd Ammar	Instructor for Watch-mending Course
Ms. Dalal Mardini	Instructor for Women's Sewing Course
Mr. Mohammad Ayoub	Instructor for Men's Sewing Course
Ms. Saeda Subh	Instructor for Knitting Course
Mr. Ali Al Hajali	Instructor for Wood Working Course
Mr. Mohammad Bashir Jakmiry	Instructor for Leather Works Course
Mr. Abdalla Khazmeh	Instructor for Shoe - making Course
Mr. Hisham Mously	Instructor for Mental Development

(4) School for the Blind in Damascus

Mr. Mandouh Azzo	Director
------------------	----------

(5) School for the Deaf in Damascus

Mr. Ahmad Touriman	Director
--------------------	----------

(6) Al-Amal School for the Physically Disabled in Damascus

Ms. Sowher Ramadan	Director
Mr. Awon Al - Shareff	Physio Therapist
Ms. Maisoun abul Fakher	Science Teacher

(7) UNDP Office in Syria

Ms. Maria Bances del Rey	Junior Program Officer
--------------------------	------------------------

(8) Damascus Hospital

Dr. M. Jamal Al- Wadi	General Surgeon, Director of Damascus Hospital
-----------------------	--

(9) IBN Al- Nafees Hospital

Dr. Muhamed Khir Al- Elabli	Director
Dr. Maesaim Ibrahim	

(10) UNRWA Damascus Training Center

(UNRWA: United Nation Relief and Works Agency for Palestine Refugees in the Near East)

Mr. Hiroshi Agawa	JICA Expert
Mr. Shigemi Kobayashi	JICA Expert on Electronic

(11) Daraa Shoe's Factory

Mr. Rifat Al Sari	Director
-------------------	----------

(12) The Intermediate Third Industrial Institute

Mr. Abdalla Nahhas	Director
--------------------	----------

(13) 日本大使館

鏡 武	大使
坂 克人	一等書記官
霜垣和雄	専門調査員

(14) JICA シリア事務所

海老名捷彦	所長
後藤信二	所員

4. 当該国の社会・経済事情

国名	シリア・アラブ共和国
	Syrian Arab Republic

1998. 03 1/2

一般指標				
政体	共和制(軍事政権下における)	*1	首都	ダマスカス *1
元首	President Hafiz al-ASAD	*1	主要都市名	ハジブ、ヒス、シキフ *1
独立年月日	1946年4月17日	*1	経済活動可人口	4,000千人(1995年) *4
人種(部族)構成	アラブ人90.3%、クルド人、アラブ人	*1	義務教育年数	6年間(1997年) *5
			初等教育就学率	93.0%(1994年) *5
			初等教育終了率	% (年) *6
言語・公用語	アラビア語	*1	識字率	69.8%(1994年) *7
宗教	スンニ回教74%、他回教16%、キリスト教	*1	人口密度	84.81人/Km ² (1996年) *1
国連加盟	1945年10月	*2	人口増加率	3.4%(1996年) *1
世銀加盟	1961年11月	*3	平均寿命	平均67.13 男65.94 女68.38 *1
IMF加盟		*3	5歳児未満死亡率	36/1000(1995年) *7
面積	185.18千Km ²	*1	カロリー供給量	3,175.0 cal/日/人(1992年) *7
人口	15,608,648千人(1996年)	*1		

経済指標				
通貨単位	シリア・ポンド	*1	貿易量	(1996年) *8
為替(1US\$)	1US\$=11.23 (1997年11月)	*8	輸入	3,999.0百万ドル *8
会計年度	1月~12月	*1	輸出	5,244.0百万ドル *8
国家予算	(1994年)	*9	輸入カバー率	月(年) *10
歳入	9,968.1百万ドル	*9	主要輸出品目	石油、農産物、繊維(1994年) *1
歳出	11,760.9百万ドル	*9	主要輸入品目	食品、機械、金属製品、繊維(1994年) *1
国際収支	780.00百万ドル(1995年)	*9	日本への輸出	12.9百万ドル(1996年) *11
ODA受取額	347.00百万ドル(1995年)	*7	日本からの輸入	268.4百万ドル(1996年) *11
国内総生産(GDP)	16,783.00百万ドル(1995年)	*4		
一人当たりGNP	1,120.0百万ドル(1995年)	*4	外貨準備総額	百万ドル() *8
GDP産業別構成	農業 % (年)	*4	対外債務残高	293.0百万ドル(1995年) *10
	鉱工業 % (年)		対外債務返済率	4.6%(1995年) *10
	サービス業 % (年)		インフレ率	% (年) *7
産業別雇用	農業 33.0%(1990年)	*7		
	鉱工業 24.0%(1990年)			
	サービス業 43.0%(1990年)		国家開発計画	第7次経済開発5ヵ年計画(90~95年) *12
経済成長率	7.4%(1995年)	*4		

気象(1961~1990年平均)		場所: Damascus											(標高 720 m)	
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均 / 計	
最高気温	12.0	14.0	18.0	24.0	29.0	33.0	36.0	37.0	33.0	27.0	19.0	13.0	24.6℃	*13
最低気温	2.0	4.0	6.0	9.0	13.0	16.0	18.0	18.0	16.0	12.0	8.0	4.0	10.5℃	*13
平均気温	6.2	8.0	11.2	15.7	20.4	24.6	26.6	26.2	23.3	18.5	12.3	7.5	16.7℃	*14
降水量	43	43	8	13	3	0	0	0	18	10	41	41	220 mm	*13
雨期乾期						乾	乾	乾	乾	乾				

*1 CIA World Fact Book 1997-1998
 *2 States Members of United Nations
 *3 International Financial Statistics Yearbook 1996
 *4 World Development Report 1997
 *5 UNESCO Statistical Yearbook 1997
 *6 Status and Trends 1997
 *7 Human Development Report 1997

*8 International Financial Statistics February 1998
 *9 International Financial Statistics Yearbook 1997
 *10 Global Development Finance 1997
 *11 世界の国一覧表 1997年版
 *12 最新世界各国要覧 97年版
 *13 The Times Book World Weather Guide, Update Edition
 *14 理科年表, 国立天文台(1997)

国名	シリア・アラブ共和国
	Syrian Arab Republic

1998.03 2/2

*15

我が国におけるODAの実績					
項目	年度	1992	1993	1994	1995
技術協力		2,699.97	2,892.93	3,087.67	2,796.65
無償資金協力		2,194.95	2,244.22	2,456.48	3,256.28
有償資金協力		5,852.05	3,939.97	4,352.21	3,878.11
総額		10,746.97	9,077.12	9,896.36	9,931.04

*15

当該国に対する我が国ODAの実績					
項目	年度	1992	1993	1994	1995
技術協力		4.45	5.60	8.57	14.63
無償資金協力		0.36	3.05	16.53	17.60
有償資金協力		4.49	67.60	304.93	90.03
総額		9.30	76.25	330.03	122.26

*16

OECD諸国の経済協力実績 (支出純額、単位：百万ドル)					
	贈与 (1)	有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1)+(2)=(3)	その他政府資金 及び 民間資金 (4)	経済協力総額 (3)+(4)
二国間援助 (主要供与国)	64.10	94.80	158.90		158.90
1. 日本	32.20	90.10	122.30		122.30
2. ドイツ	13.90	5.20	19.10		19.10
3. フランス	13.40	-0.90	12.50		12.50
4. スウェーデン	1.70	0.00	1.70		1.70
多国間援助 (主要援助機関)	65.60	9.50	75.10		75.10
1. UNRWA					
2. CEC					
その他	23.70	91.50	115.20		115.20
合計	153.40	195.80	349.20		349.20

*17

援助受入れ窓口機関	
技術	関係各省庁→総理府企画庁→企画大臣
無償	
協力隊	

- *15 Japan's ODA Annual Report 1996
- *16 Geographical Distribution of Financial Flows to Aid Recipients 1991-1995
- *17 国別協力情報(JICA)

5. 収集資料リスト

No.	書名	発行年
1	Statistical Abstract 1997	1997
2	Statistical Abstract 1996	1996
3	The Annual Statistical Bulletin of the Ministry of Social Affairs & Labour 1995	1995
4	The Annual Statistical Bulletin of the Ministry of Social Affairs & Labour 1994	1994
5	The Oxford Business Guide 1995-6, Syrian Arab Republic	1995
6	Project Document SYR/95/004 Pilot 'Community Based Rehabilitation' Programme (CBR)	1997
7	Community Based Rehabilitation Project Syr/95/004, Damascus, Syria	1997
8	The Projected Yearly Plan of the Ministry of Labor and Social Affairs - Year 1998 (上記は原文アラビア語で、英訳したもの)	1997
9	Legislative Decree N.54, Pertaining to the Formation of Vocational Rehabilitation Centers for Disabled (上記は原文アラビア語で、英訳したもの)	
10	The Internal Statute for the Typical Establishment for Rehabilitation of the Blind (上記は原文アラビア語で、英訳したもの)	
11	The Internal Statute of the Vocational Rehabilitation Center for the Disabled in Damascus (上記は原文アラビア語で、英訳したもの)	
12	障害者職業リハビリテーションセンター入所案内 (アラビア語)	
13	障害者職業リハビリテーションセンター入学願書記入様式 (アラビア語)	

6. 計画機材リスト

計画機材リスト

A. 障害者職業リハビリテーションセンター用機材

機材番号	機材名	概略仕様	計画数量	単位
a.1	ビジネスコース	-	-	-
a.1.1	ワープロソフト付パソコン	-	-	-
a.1.1.1	パソコン本体	デスクトップタイプ、ペイン1200MHz	22 sets	
a.1.1.2	MS Office (アラビア語対応)	Windows 95 Arabic, MS Office 97 Arabic	22 sets	
a.1.1.3	レーザープリンタ	A4サイズ、600dpi x 600dpi	2 sets	
a.1.1.4	ドットマトリックスプリンタ	ドットマトリックス、A3サイズ対応	2 sets	
a.1.1.5	スタビライザー	コンピュータ用、0.5KVA	22	
a.1.1.6	UPS	コンピュータ用、0.4KVA	22	
a.1.1.7	接続ケーブル一式	インターネットボード、ケーブル、モデムケーブル	1 set	
a.1.1.8	パソコン用机	コンピュータ用	22	
a.2	木工コース	-	-	-
a.2.1	帯鋸盤	最大挽き割り高さ300mm、帯鋸寸法75x2800x0.65mm、及び鉋刃用溶接機	1 set	
a.2.2	万力付木工作業台	寸法W1800xD900xH750、万力2ヶ付き	4	
a.2.3	丸鋸盤	丸鋸直径400mm、テーブルサイズ650x800mm	1	
a.2.4	鉋盤	削り幅400mm、及び鉋盤用刃物研削機	1	
a.2.5	ベンチドリル	穴開け能力20mm、スタンド付き	2	
a.2.6	足踏式グラインダー	砥石：外径255x厚さ25mm、2ヶ付き	2	
a.2.7	木工プレス	定盤寸法1000x2000mm、ストローク900mm、最大圧力20ton	1	
a.2.8	ルータ	最大加工厚170mm、定盤寸法900x600mm	1	
a.2.9	電動ドリル	能力13mm、ボータブタイプ	2	
a.2.10	電動グラインダ	砥石φ100x15mm、ボータブタイプ	2	
a.2.11	電動サンダー	ペーパーサイズ90x230mm、ボータブタイプ	2	
a.2.12	電動鉋	削り幅110mm、ボータブタイプ	2	
a.2.13	電動丸鋸	刃直径260mm、ボータブタイプ	2	
a.2.14	電動ジグソー	最大板厚65mm、ボータブタイプ	2	
a.2.15	エアコンプレッサー	モータ出力0.2kW、空気量25 liter/min、圧力5kg/cm ²	2	
a.2.16	集塵機	風量38m ³ /min、モータ2.2kW、フィルター付き、移動式	1	
a.2.17	スプレーガン	ノズル口径1.5mm、吸い上げ式、塗料カップ600ml	2	
a.2.18	ツールワゴン	3段、寸法W660xD340xH800mm、キャスター付き	4	
a.2.19	木工手工具セット	鋸、鉋、杓、木槌、曲尺等のセット、木箱付き	12	
a.2.20	角ノミ盤	角のみ寸法5~22mm、テーブル寸法W550xD200mm	1	
a.2.21	木工旋盤	心間最大距離1000mm、ヘッド上の振り400mm、主軸回転数450~3000RPM	1	
a.3	縫製コース	-	-	-
a.3.1	ミシン	家庭用電動タイプ5台、足踏みタイプ5台	10	
a.3.2	工業用ミシン	縫い速度最大4500spm、中厚物用、テーブル、足、スタンド付き	10	
a.3.3	真空プレス	作業寸法1200x650mm、モータ400W、エバーサタイプ	1	
a.3.4	電動裁断機	裁断能力110mm	2	
a.3.5	スチームアイロン・アイロン台	アイロン1000W、アイロン台寸法1150x350mm、三段調節、仕上げ用馬及びまんじゅう含む	4	
a.3.6	製図セット	ものさし3種、カーブ尺、角尺、ガラスジャー、洋裁コハス、雲形定規等	2	

計画機材リスト

機材番号	機材名	概略仕様	計画数量	単位
a.3.7	作業台	裁縫用机、寸法1800x900xH780mm	2	
a.3.8	ツールワゴン	4段、寸法660x340xH900mm、キャスター付き	4	
a.3.9	洋裁用具セット	洋裁用具32点セット、木製ケースを含む	43	
a.3.10	ロックミシン	最大縫い速度6000spm、針幅0.8~4.0mm、かがり幅1.6~4.8mm、テーブル、イス、スタンド付き	2	
a.3.11	ボタン穴かがりミシン	最大縫い速度3600spm、押さえ上昇量12mm、針数54~345、テーブル、イス、スタンド付き	2	
a.3.12	ボタン縫いミシン	最大縫い速度1500RPM、ボタンサイズφ10~28mm、テーブル、イス、スタンド付き	2	
a.3.13	刺繍ミシン	最大縫い速度2000RPM、ジグザグ幅0~12mm、テーブル、イス、スタンド付き	2	
a.3.14	ダブルステッチミシン	最大縫い速度3000RPM、縫い目長さ正5mm/逆5mm(Max.)、テーブル、イス、スタンド付き	2	
a.3.15	ジグザグミシン	最大縫い速度5000RPM、ジグザグMax.8mm、テーブル、イス、スタンド付き	2	
a.4	編物コース	—	—	—
a.4.1	編み機(電動)	電動、針ピッチ4.5mm、200針	5	
a.4.2	ツールワゴン	3段、寸法600x480xH880mm、キャスター付き	2	
a.4.3	編み物用具セット	針棒セット(16種)、フックセット(8種)、棒針、キャップ等	12	
a.4.4	編み機(マニュアル)	針ピッチ4.5mm、200針、パンチカート式	15	
a.4.5	ニット用かがり縫いミシン	襟、袖の縫い合わせ用、テーブル、モーター付き	1	
a.4.6	刺繍ミシン	最大縫い速度2000RPM、ジグザグ幅0~12mm、テーブル、イス、スタンド付き	2	
a.4.7	刺繍用具セット	棒針セット、かぎ針セット、刺繍標本セット	11	
a.5	電気機器コース	—	—	—
a.5.1	電圧計	直流・交流各1台で1組	4	
a.5.2	電流計	直流・交流各1台で1組	4	
a.5.3	LCRメータ	測定項目:インダクタンス、キャパシタンス、抵抗等	1	
a.5.4	オシロスコープ	40MHz、垂直軸感度5mV/div~5V/div	1	
a.5.5	テスター	直流電圧0.3~1200V、直流0.012~1,200mA、交流電圧3~1200V、抵抗2~20,000kΩ	4	
a.5.6	電気回路訓練キット	電気回路基礎学習用、電子回路基礎学習用各1セットで1組	4	
a.5.7	波形発信器	周波数0.01Hz~10MHz	1	
a.5.8	交・直流電源供給機	出力電圧0~±10V、最大出力電流3mA、入力最大250V	4	
a.5.9	ワットメータ	5A、精度±0.5%	4	
a.5.10	クランプメータ	2種類1組(20~600V、2~200A、2~200kW)及び20~600V、0.2~20A、0.2~20kW)	4	
a.5.11	照度計	測定範囲0~3000lx、3段階レンジ	4	
a.5.12	照明	蛍光灯、机上タイプ	4	
a.5.13	電動ドリル	電気機器工作用、スタンド付き	2	
a.5.14	電動グラインダ	砥石外径100mm、ホーダ付タイプ	2	
a.5.15	ツールワゴン	寸法660x340xH880mm、3段、キャスター付き	4	
a.5.16	作業台	電気作業用、W1800xD900xH900mm	4	
a.5.17	ハンダごて	100W、ハンダごてこ台付き	4	
a.5.18	モーター修理セット	巻線機(手動、電動各1台)及び各種工具、工具箱	1 set	
a.6	知的障害者能力開発コース	—	—	—
a.6.1	作業用ローラコンベア	アルミ製ローラコンベア、幅400x長さ2000mmを2ヶ1組、脚付き	5 set	
a.6.2	秤各種	上皿秤(1kg、4kg各1ヶ)、上皿さお秤(1kg)1ヶ	2 set	

計画機材リスト

機材番号	機材名	概略仕様	計画数量	単位
a. 6.3	トレイ各種	樹脂製、概寸300x200x100mm	50	
a. 6.4	組立分解器具	ペグボード及びペグ	1 set	
a. 6.5	工具セット	コンビネーション工具セット	10 set	
a. 6.6	機織り機	小型機織り機	1 set	
a. 6.7	職業評価器具	一般職業適正検査器 8点組	1 set	
a. 6.8	音楽セラピー用楽器	—	—	
a. 6.8.1	-キーボード	60鍵、120音色	1	
a. 6.8.2	-小太鼓	φ35x14 cm、スタンド、パチ付き	4	
a. 6.8.3	-大太鼓	φ60x35 cm、スタンド、パチ付き	1	
a. 6.8.4	-シンバル	φ21cm、(2枚1組)	2	
a. 6.8.5	-カスタネット	木製	10	
a. 6.8.6	-トライアングル	21cm、打棒付き	2	
a. 7	車椅子	—	—	
a.7.1	車椅子	成人用、折り畳み式	20	
a.7.2	電動車椅子	レバー操作、成人用	10	
a. 8	コピー機	用紙サイズA5～A3、50%～200%、コピー機能付き	1	
a. 9	通学バス	35人乗り		
a. 10	スポーツ用品	—	—	
a.10.1	トランポリン	寸法W450xD280xH100、折り畳み式	1	
a.10.2	跳び箱	木製、7段、踏切板、マット付き	1 sets	
a.10.3	レスリング用マット	樹脂製体操用マット、90x90cm、30 sheets	1 set	
a.10.4	平均台	木製、10cm x10cm x 300cm、高さ30cm	1 set	
a.10.5	卓球セット	障害者用卓球台、ラケット、ボール、フェンス含む	2 sets	
a.10.6	平行ブロック	バランス歩行板及びブロック台各1台で1組	2 sets	
a.10.7	バスケットボール用車椅子	バスケットボール用	10	
a.10.8	陸上競技用車椅子	スラローム用	10	
a.10.9	筋力トレーニング機器	多機能型 (4柱以上)	1 set	
a.10.10	メディカル・ボール	700g、1000g、2000g、3000g各1個で1組	10 sets	
a.10.11	バスケットボール用機材	バスケットゴール1組及びボール	1 set	

計画機材リスト

B. ダマスカス盲学校用機材

機材番号	機材名	概略仕様	計画数量	単位
b.1	点字用印刷機	—	—	—
b.1.1	点字プリンタ	両面印刷可、600枚/時、点画サイズ1.25mm	1	
b.1.2	パソコン本体	デスクトップタイプ、ペンタプロ200MHz	2	
b.1.3	点字ソフト	英語-アブラカダラ語対応点字ソフト	2	
b.1.4	レーザープリンタ	A4サイズ、600dpi x 600dpi	1	
b.1.5	スタビライザー	コンピュータ用、0.5KVA	2	
b.1.6	UPS	コンピュータ用、0.4KVA	2	
b.1.7	パソコン用机	コンピュータ用	2	
b.2	ヘッドホン付テープレコーダ	平型ヘッドホンレコーダ	100	
b.3	点字タイプライタ	—	—	—
b.3.1	点字タイプライタ (手動)	最大用紙幅300mm、行最大文字数44、点画サイズ2.5mm	90	
b.3.2	点字タイプライタ (電動)	メモリー機能付き	10	
b.4	音楽用機器	—	—	—
b.4.1	アコーディオン	32鍵、ハードケース付き	5	
b.4.2	タンバリン	φ21cm	2	
b.4.3	キーボード	60鍵、120音色	3	
b.4.4	小太鼓	φ35x14 cm、スタンド、バチ付き	2	
b.4.5	大太鼓	φ60x35 cm、スタンド、バチ付き	1	
b.4.6	シンバル	φ21cm、(2枚1組)	1	
b.4.7	カスタネット	木製	5	
b.4.8	トライアングル	21cm、打棒付き	1	
b.5	テープダビング機	16倍速、マスター&3コピー	1 set	
b.6	生活訓練用機材	—	—	—
b.6.1	電気コンロ	電熱器、1kw	4	
b.6.2	ミンチ機	100~150 kg/hour	1	
b.6.3	電動ジューサーミキサー	ジューサー及びミキサー機能付き	1	
b.6.4	冷蔵庫	2ドア、450 liter	2	
b.6.5	圧力鍋	14 liter	4	
b.6.6	洗濯機	2槽式、5kg	2	
b.7	通学バス	35人乗り		
b.8	点字盤	A4サイズ、30セル x 27行	200	
b.9	スポーツ用品	—	—	—
b.9.1	ゴールボールセット	—	—	—
b.9.1.1	-ゴールボール	ゴールボール用	10	
b.9.1.2	-ゴール	ゴール	1	
b.9.1.3	-アイマスク	競技用	10	
b.9.2	チェス (盲人用)	盲人用のチェス	10 lot	
b.9.3	盲人用卓球セット	盲人用、ラケット、ボール、フェンスを含む	4 sets	
b.10	盲人用教育機材	—	—	—
b.10.1	人体模型	実物大、人体15分解	1	
b.10.2	人骨模型	実物大、プラスチック製、台付き	1	
b.10.3	眼模型	5倍大、6分解	1	
b.10.4	耳模型	実物の約3倍大、4部分解、台付き	1	
b.10.5	幾何学の道具	立体模型を1セット	1	
b.10.6	各種動物の玩具	動物模型1セット	1	
b.10.7	各種交通手段の玩具	乗り物模型1セット	1	
b.10.8	測定単位	時計模型及び重さ直観器	1	

計画機材リスト

C. ダマスカスろう学校用機材

機材番号	機材名	概略仕様	計画数量	単位
c.1	聴覚訓練用機材	—	—	—
c.1.1	ランゲージラボ	教師用+10生徒用	4 sets	
c.1.2	オーディオメータ	周波数切り替え、500, 1000, 2000, 4000 Hz	2 sets	
c.1.3	インピーダンスメータ	0.2~9.99ml	2 sets	
c.1.4	補聴器	連続可変の音質調整器付き	20	
c.2	リズム教育用音楽用品	—	—	—
c.2.1	キーボード	60鍵、120音色	2	
c.2.2	ドラム (小)	φ35x14 cm、スタンド、パチ付き	4	
c.2.3	ドラム (大)	φ60x35 cm、スタンド、パチ付き	4	
c.3	ろう学校用教育機材	—	—	—
c.3.1	人体模型	頭部スタンドモデル	1	
c.3.2	耳模型	5倍大、6分解	1	
c.4	スポーツ用品	—	—	—
c.4.1	トランポリン	W450xD280xH100cm、折り畳み式	1	
c.4.2	跳び箱	木製、7段、踏切板、マット付き	1 set	
c.4.3	レスリング用マット	樹脂製体操用707マット、90x90cm, 30sheets	1	
c.4.4	走り高跳び用機材	支柱2台組、高さ2.1m、走り高跳び用ピットを含む	1	
c.4.5	平均台	木製、10cmx10cmx 300cm、高さ30cm	1 set	
c.4.6	卓球セット	障害者用卓球台、ラケット、ボール、シューズ含む	2 sets	
c.4.7	バランスブロック	バランス歩行板及びロッキング台各1台で1組	2 sets	
c.5	ビデオカメラ及びビデオ	PAL対応、ビデオカメラ、ビデオデッキ、モニター	1 set	
c.6	通学バス	35人乗り		

計画機材リスト

D. アル・アマル肢体不自由児学校用機材

機材番号	機材名	概略仕様	計画数量	単位
d.1	車椅子	-	-	-
d.1.1	車椅子 (小型)	子供用、折り畳み式	15	
d.1.2	車椅子 (普通サイズ)	成人用、折り畳み式	35	
d.2	電動車椅子	レバー操作、成人用	5	
d.3	理学療法機器	-	-	-
d.3.1	短波理学療法機器	超短波、パルス400W (最大1000W)、発振周波数27.12MHz±0.6%	1 set	
d.3.2	周波数刺激機	-	-	-
d.3.2.1	筋電計	2チャンネル、18種パターン	1 set	
d.3.2.2	干渉波治療器	周波数2, 2.5, 4, 6, 10kHz, 0~100mA	1 set	
d.3.3	赤外レーザー	最大電圧400mA、バッテリー電源12V	1 set	
d.3.4	赤外線紫外線ランプ	赤外線ランプ及び紫外線ランプ	2 sets	
d.3.5	ゴニオメータ	関節角度測定用 (肘、膝、指等) セット	2 sets	
d.3.6	水浴療法機器	-	-	-
d.3.6.1	全身温浴装置	ジェットマッサージ、概寸W85xL200xH80cm	1 set	
d.3.6.2	上肢用温浴装置	概寸75x50xH80cm	1 set	
d.3.6.3	下肢用温浴装置	概寸75x50xH50cm	1 set	
d.3.6.4	超音波治療器	超音波周波数1 & 3 MHz、寸法290x280x100cm	1 set	
d.3.6.5	ホットバック及び加温装置	タンク容量60liter、1100W、ホットバック式	1 set	
d.3.7	回転訓練機	-	-	-
d.3.7.1	エルゴメータ	負荷50-250W	1 set	
d.3.7.2	ペダル回転機	寸法W50xD40xH35cm	2 sets	
d.3.8	全身複合運動器	-	-	-
d.3.8.1	大腿四頭筋訓練器	寸法W60xD125xH70cm	1 set	
d.3.8.2	多目的牽引装置	腹筋、背筋、上肢、下肢用	1 set	
d.3.9	チルトテーブル	-	-	-
d.3.9.1	起立訓練傾斜ベッド	起立角度0~90°、W70xL200cm	1 set	
d.3.9.2	トリートメントテーブル	概寸W70xL200cm、H80cm	2 sets	
d.4	通学バス	35人乗り		
d.5	身体障害者用教育用品	-	-	-
d.5.1	人骨模型	実物大、プラスチック製、台付き	1	
d.5.2	顕微鏡	倍率40~600倍	2	
d.5.3	人体模型	実物大、人体15分解	1	
d.5.4	眼模型	5倍大、6分解	1	
d.5.5	脊椎模型	可動型脊柱モデル、スタンド付き	1	
d.5.6	心臓模型	4部分解、スタンド付き、実物の約2倍大	1	
d.5.7	耳模型	実物の約3倍大、4部分解、台付き	1	
d.5.8	脳模型	実物大、6部分解	1	
d.6	ビデオ及びビデオカメラ	PAL対応、ビデオカメラ、ビデオデッキ、モニター	1	
d.7	音楽用品	-	-	-
d.7.1	アコーディオン	32鍵、ハードケース付き	3	
d.7.2	キーボード	60鍵、120音色	2	
d.7.3	その他	-	-	-
d.7.3.1	カスタネット	木製	6	
d.7.3.2	トライアングル	21cm、打棒付き	2	
d.7.3.3	シンバル	φ21cm、(2枚1組)	2	
d.7.3.4	小太鼓	φ35x14 cm、スタンド、バチ付き	4	
d.7.3.5	大太鼓	φ60x35 cm、スタンド、バチ付き	1	

計画機材リスト

機材番号	機材名	概略仕様	計画数量	単位
d.8	スポーツ用品	-	-	-
d.8.1	バスケットボール用車椅子	バスケットボール用	10	
d.8.2	陸上競技用車椅子	スラローム用	10	
d.8.3	筋力トレーニングキット	多機能型 (4柱以上)	1 set	
d.8.4	卓球セット	障害者用卓球台、ラケット、ボール、フェンス含む	2 sets	
d.8.5	メディカルボール	700g, 1000g, 2000g, 3000g各1個で1組	10 sets	
d.8.6	レスリング用マット	樹脂製体操用707マット、90x90cm, 30 sheets	1 set	
d.8.7	バスケットボール用品	バスケットボール1組及びボール	1 set	



JICA